



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所 東  
コード番号 2708 URL <https://www.kuze.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久世 真也  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 市川 明夫 (TEL) 03(3987)0018  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	51,975	5.9	1,537	△14.9	1,902	2.1	1,561	△19.7
2024年3月期第3四半期	49,064	16.4	1,807	208.7	1,863	193.6	1,944	253.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,250百万円(△42.1%) 2024年3月期第3四半期 2,161百万円(230.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	337.45	—
2024年3月期第3四半期	420.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	27,719	7,725	27.9
2024年3月期	24,863	6,668	26.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 7,725百万円 2024年3月期 6,668百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 27円00銭

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	3.9	1,400	△24.8	1,450	△25.3	1,300	△35.3	281.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 一社(社名) 、除外 2社(社名) 上海日生食品物流有限公司  
久華世(成都)商貿有限公司

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	4,626,327株	2024年3月期	4,626,327株
2025年3月期3Q	51株	2024年3月期	51株
2025年3月期3Q	4,626,276株	2024年3月期3Q	4,626,308株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、個人消費の停滞は見られたものの企業業績は引き続き好調に推移し、訪日外国人客数が過去最高を更新するなど、一部回復の兆しも見られました。一方で諸物価の高騰や人手不足は続いており、景気の先行きは依然不透明な状況にあります。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場につきましては、法人需要の伸長や旺盛なインバウンド関連需要に支えられ、集客面は引き続き堅調に推移いたしました。一方で仕入価格の高騰や人手不足の影響により外食関連業態の倒産件数は増加傾向にあり、業界の競争が激しくなっております。

当社グループはこのような状況のなか、「食は最も身近なエンターテインメント」であるとの認識に立ち、外食・中食市場の持続的な発展のために日々業務に取り組んでおります。また、蓮田センターの本格稼働によって物流キャパシティを確保し、新規のお客様の獲得並びに既存のお客様とのお取引の拡大を積極的に進めるとともに、DX化によるお客様の利便性の向上にも引き続き注力いたしました。新センター分を含め経費は上昇しておりますが、今後はお客様とのお取引を拡大することで経費の吸収を進めてまいります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は519億75百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は15億37百万円（前年同期比14.9%減）、経常利益は19億2百万円（前年同期比2.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億61百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、既存のお客様への提案活動を一層進めるとともに、新センターの本格稼働に合わせて新規のお客様へのアプローチを強化し、売上と利益の確保に努めました。このような結果、売上高は468億34百万円（前年同期比6.0%増）、セグメント利益（営業利益）は18億39百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

#### (食材製造事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社キスコフーズ株式会社が食材製造を行っております。継続して円安の傾向にあり、国内外の原材料やエネルギー価格の高騰も相まって仕入コストは高止まりの状況にありました。その対策として、販売価格の適正化を進めるとともに主要取引先向けの商品提案を強化いたしました。このような結果、売上高は50億50百万円（前年同期比5.1%増）、セグメント利益（営業利益）は4億21百万円（前年同期比22.1%減）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は1億5百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益（営業利益）は84百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ28億55百万円増加し、277億19百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が16億71百万円、商品及び製品が11億97百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間における負債は、前連結会計年度末に比べ17億98百万円増加し、199億93百万円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金が1億85百万円、長期借入金が27億6百万円減少し、買掛金が38億61百万円、短期借入金が4億50百万円、未払法人税等が2億95百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間における純資産は、前連結会計年度末に比べ10億57百万円増加し、77億25百万円となりました。これは主として為替換算調整勘定が3億54百万円減少し、利益剰余金が13億67百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は27.9%（前連結会計年度末26.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月15日に公表いたしました業績予想を据え置いております。  
今年度の着地見込みについては現在精査しており、固まりましたら速やかに開示いたします。

なお、連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって  
予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,506	6,384
受取手形及び売掛金	7,444	9,115
商品及び製品	2,885	4,083
原材料及び貯蔵品	422	539
その他	685	634
貸倒引当金	△21	△96
流動資産合計	17,924	20,660
固定資産		
有形固定資産	3,222	3,175
無形固定資産	232	216
投資その他の資産		
投資有価証券	1,698	1,771
その他	2,005	2,188
貸倒引当金	△220	△293
投資その他の資産合計	3,483	3,667
固定資産合計	6,938	7,058
資産合計	24,863	27,719
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,603	14,465
短期借入金	—	450
1年内返済予定の長期借入金	1,097	911
未払金	1,331	1,325
未払法人税等	101	396
賞与引当金	319	170
その他	557	590
流動負債合計	14,011	18,311
固定負債		
長期借入金	3,464	757
役員退職慰労引当金	253	249
退職給付に係る負債	231	238
資産除去債務	98	100
その他	135	335
固定負債合計	4,182	1,681
負債合計	18,194	19,993

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	999	999
利益剰余金	4,617	5,984
自己株式	△0	△0
株主資本合計	5,716	7,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	734	780
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	205	△149
退職給付に係る調整累計額	10	8
その他の包括利益累計額合計	951	641
純資産合計	6,668	7,725
負債純資産合計	24,863	27,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	49,064	51,975
売上原価	37,935	40,118
売上総利益	11,128	11,856
販売費及び一般管理費	9,321	10,318
営業利益	1,807	1,537
営業外収益		
受取事務手数料	52	63
受取配当金	5	11
為替差益	—	269
持分法による投資利益	—	3
その他	55	50
営業外収益合計	114	399
営業外費用		
支払利息	43	28
支払手数料	13	4
その他	0	0
営業外費用合計	57	34
経常利益	1,863	1,902
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
固定資産売却益	12	—
関係会社出資金売却益	—	388
国庫補助金	80	—
特別利益合計	92	388
特別損失		
固定資産除却損	1	0
減損損失	11	—
特別損失合計	13	0
税金等調整前四半期純利益	1,943	2,290
法人税、住民税及び事業税	186	487
法人税等調整額	△187	241
法人税等合計	△1	729
四半期純利益	1,944	1,561
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,944	1,561



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,944	1,561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134	45
繰延ヘッジ損益	△1	1
為替換算調整勘定	84	△354
退職給付に係る調整額	△1	△2
その他の包括利益合計	216	△310
四半期包括利益	2,161	1,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,161	1,250
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間において、従来、連結子会社であった上海日生食品物流有限公司及び久華世(成都)商貿有限公司の出資金の一部を売却したため、連結の範囲から除外し、持分法適用関連会社としております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	240百万円	313百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,154	4,803	5	48,963	100	49,064
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	—	99	111	0	112
計	44,166	4,803	105	49,075	100	49,176
セグメント利益又は損失 (△)	1,911	540	82	2,534	△31	2,503

(注) その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託業務です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,534
「その他」の区分の損失(△)	△31
セグメント間取引消去	9
全社費用(注)	△705
四半期連結損益計算書の営業利益	1,807

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	46,817	5,050	5	51,872	102	51,975
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	—	99	117	0	117
計	46,834	5,050	105	51,990	102	52,093
セグメント利益又は損失 (△)	1,839	421	84	2,346	△42	2,303

(注) その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託業務です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,346
「その他」の区分の損失(△)	△42
セグメント間取引消去	9
全社費用(注)	△775
四半期連結損益計算書の営業利益	1,537

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。